活動報告３　専任教員

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 京都市立芸術大学　日本伝統音楽研究センター 公開日: 2017-06-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15014/0000000190

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.

時田　アリソン

受賞

第 33 回田邊尚雄賞

京都新聞大賞（文化学術）

第 28 回（2016 年度）小泉文夫音楽賞

◆研究活動

科学研究（代表）基盤研究 C「植民地における近代音楽の帰属意識―東アジアとオーストラリアの芸術歌曲の場合」平成 27 年 ~29 年　課題番号 15K02117

＊ 2017.03.25　レクチャーコンサート「芸術歌曲の誕生と音楽の近代」京都府民ホールアルティ（大学移転プレ事業）

＊ 2017.03.26　国際シンポジウム「「植民地における近代音楽の帰属意識」同志社女子大学」*The Art Song and Musical Modernity in East Asia and Australia in the First Half of the 20th Century.*

国際日本文化研究センター共同研究会「浪花節の生成と展開についての学際的研究」班員

ジュネーブ高等音楽院の F. ビッジ先生と「Oulomenen：イタリアと日本の語り物の比較研究」

◆著作活動

「芸術歌曲による日本、朝鮮、中国における近代音楽の帰属意識の形成」

The Formation of Modern Musical Identity in Japan, Korea and China through the Art Song

『日本伝統音楽研究』13 号、pp.25-45

"Katari Traditions". *A history of Japanese theatre*, edited by Jonah Salz. Cambridge [England]: Cambridge University Press, 2016. Pages 21-23. ISBN: 9781107034242 (hardback)

"The Singer of Tales as Itinerant Performer: The Michiyuki Trope". *Beyond Contamination: Corporeality, Spirituality, and Pilgrimage in Northern Japan.*

Edited by Peter Eckersall. Keio University Art Center, Tokyo, 2016, pages 224-242.

ISBN: 978-4-9909155-0-6

書評：*Not by Love Alone: The Violin in Japan, 1850–2010 by* Margaret Mehl. Sound Book Press, 2014. xii+533 pages. ISBN 978-8799728312（paperback）

Japan Review, No. 29, pages 228-229.

DVD 評：*Itako: Nakamura Take.* 2013. Edited by Kojima Tomiko, Komoda Haruko, Sawai Kuniyuki, Sumi Miyako, Nakayama Ichiro. Produced by Group for Recording the Activities of the Itako, Nakamura Take. In Japanese. 5 hours 48 minutes. Colour, 2 DVDs. 6 CDs（5 hours 48 minutes）and one book（306 pp. in Japanese, 20 pp. in English）. Osaka: AD POPOLO Inc. ISBN–13: 978–4990336042.

Yearbook for Traditional Music, vol. 48, 2016, pages 240-241

京都新聞　夕刊　コラム「現代のことば」

2016 年 4 月 1 日「芸術歌曲」

2016 年 6 月 1 日「日本伝統音楽研究センター 15 年」

◆講演・口述活動

＊ 2016.07.30　東洋音楽学会西日本支部第 273 回定例研究会 《田邊賞尚雄賞受賞記念講演》「"Japanese Singer of Tales" 執筆を通して見えてきた日本の語り物、世界

＊ 2016.08.15　NHK World 番組「70 Years of Wandering Storytelling Artist Koryu 港家小柳 70 年の旅路」のために取材を受ける（09.17 放送）

＊ 2016.08.25 － 27　ICTM　5th Symposium of the Study Group on Musics of East Asia 中央研究院（台北）に出席

＊ 2016.09.22　国際日本文化研究センター「浪花節」共同研究会「浪花節の口頭性：『左甚五郎』シリーズを中心に」

＊ 2016.10.14　シンガポール大学国際会議 “Contemporary Traditions: Japanese Performance Genres Today” *The “Heike Brothers” and the 700-year transmission and reception of heike musical narrative.*

＊ 2016.10.23　モスクワ音楽院　“Musical Map of the World”, *Japanese Story-singing: From heike to naniwa-bushi.*

＊ 2016.10.31　第２回文化庁移転連続講座「プロフェッショナルに聞く！～文化庁移転と文化芸術の未来～」誓願寺。テーマ「プレイヤーがいない！？材料がない！？伝統音楽の未来」http://www.kac.or.jp/events/19567/

＊ 2016.11.14 － 18　ジュネーブ高等音楽学院「日本の語り物」の集中講義を行う。

＊ 2016.11.16　ジュネーブ高等音楽学院、公開講演　*“Katarimono”：From Heike to Naniwa-bushi.*

＊ 2016.12.09　第４回「全国邦楽合奏フェスティバル」前夜祭～あわ邦楽サミット～（徹底討論！邦楽未来への行動）神山温泉　ホテル四季の里　於Ｃ分科会「次代リーダーを育てるためにやるべきこと」に登壇

＊ 2017.03.23 国際音楽学会 IMS Tokyo 2017 Roundtable, *The art song and cultural identity in the colonial settings of East Asia and Australia*

＊ 2017.03.26 同志社女子大学、*A Transnational Perspective on Art Songs, Composers and the Formation of a Modern Musical Identity in East Asia and Australia, focusing on Two Modest Composers: Linda Phillips（1899-2002）and Chen Tianhe（1911-1955）*

◆教育・講義活動

＊ 2016.08.16～18　連続講座Ｅ　PENDULUM 英語による日本音楽概論

＊ 81042 日本伝統音楽演習ａⅡ・ａⅣ　The sociology of music in globalizing East Asia（東アジアの音楽と近代）

◆調査・取材活動

＊ 2016.04.09　大阪、一心寺門前浪曲寄席

＊ 2016.05.09　大阪、一心寺門前浪曲寄席

＊ 2016.08.08　大阪、一心寺門前浪曲寄席

＊ 2016.09.11　大阪、一心寺門前浪曲寄席

＊ 2016.10.10　大阪、一心寺門前浪曲寄席
2017.01.06　近代音楽館、東京

＊ 2017.01.07　東京、木馬亭

◆委員会

教育研究審議会
施設整備委員会
学術交流推進委員会
自己点検・評価委員会
全学人事組織委員会
全学入試委員会
芸術資源研究センター運営委員会
安全衛生委員会

◆対外活動

国際日本研究センター　運営委員会会員
京都市芸術文化奨励制度審査員
京都市新人賞審査委員

◆所属学会など

国際文化会館（1976-）
東洋音楽学会（1978-）
日本音楽学会（1993-2005; 2010-）
楽劇学会（1993-）
口承文芸学会（1995-2010）
日本漫画研究学会（2004-2010）
芸能史研究学会（2010-2015）
オーストラリア学会（2010-）
Musicological Society of Australia（1978-）
Asian Studies Association of Australia（1978-）
Japanese Studies Association of Australia（1978-）
Japanese Studies Centre, Melbourne（1981-）
East Asian Library Resources Group of Australia（1993-）
Association for Asian Studies（1996-）

Korean Studies Association of Australia（1999-）
Australia-Japan Society of Victoria（2000-）
British Association for Japanese Studies（1995-2001）
Japan Anthropology Workshop（1995-）
European Association for Japanese Studies（1997-）
International Council for Traditional Music（ICTM）（2007-）

山田　智恵子

◆著作活動

＊ 2016.06.10　エッセイ「『何か』を残したい」『季刊上方芸能（最終巻）』200 号、p.122
＊ 2016.06.30　DVD『義太夫節の精華　竹本駒之助 九段目を語る』第 43 回公開講座（2015.11.28）記録、123min、企画・構成：山田智恵子、撮影・制作・デザイン：東正子。
＊ 2016.11.17　DVD『義太夫節　通し狂言の復曲』第 44 回公開講座（2016.03.02）、科学研究費成果報告試演会記録、120min、企画・構成：山田智恵子、撮影・制作・デザイン：東正子。
＊ 2017.03.31　公開講演会〈楽劇のコトバ―表現の多様性〉記録「義太夫節の詞の技法―豊竹嶋太夫師に聞く」『楽劇学』第 24 号、pp.54-63、楽劇学会。
＊ 2017.03.31　単著『義太夫節の語りにおける規範と変形―地合の音楽学的研究―』（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター研究叢書 2）、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター。

◆講座・講演・口述活動

＊ 2016.05.11 ～ 07.13 「音楽としての義太夫節」でんおん連続講座 A、毎水曜日、13 時～ 14 時 30 分、全 10 回。
＊ 2016.05.28 「豊竹嶋太夫師に聞く　義太夫節における地合と詞」企画・構成、聞き手。2016 年度伝音プロジェクト研究（研究代表者　山田）、第 1 回研究会、合同研究室 1。
＊ 2016.07.03 「第 24 回楽劇学会大会公開講演会『楽劇のコトバ　表現の多様性』」、「義太夫節の詞の技法―豊竹嶋太夫師に聞く」聞き手。国立能楽堂大講義室。
＊ 2016.08.28　解説「女流義太夫　竹本駒之助の至芸『良弁杉由来　二月堂の段』」「エコール　ドロイヤル」特別公開講座、リーガロイヤルホテル。
＊ 2017.03.03　講演「京都と人形浄瑠璃『義太夫節』」「京あるき in 東京 2017, 京都の大学による特別講座　京の知を深める三日間」京都造形芸術大学外苑キャンパス。
＊ 2017.03.11　研究発表「町田の『木やり歌』研究を考える」2016 年度伝音プロジェクト研究（研究代表者　山田）第 5 回研究会、合同研究室 2。

◆教育活動

＊ 日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典講読（後期）、大学院音楽研究科科目。
＊「音楽としての義太夫節」関西学院大学文学部「総合 G」講義。
＊ 独立行政法人日本芸術文化振興会伝統芸能伝承者養成「文楽」研修、「義太夫節」講義。

◆調査・研究活動

＊ 公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団助成研究「義太夫節　伝承を失った曲の復元研究とその展開」（平成 28~29 年度）、朱入り浄瑠璃本調査。研究会開催。

◆学内活動

＊ 京都市立芸術大学理事。

◆対外活動

＊ 所属学会
日本音楽学会、東洋音楽学会、楽劇学会
＊ 関西学院大学非常勤講師
＊ 独立行政法人日本芸術文化振興会伝統芸能伝承者（文楽）養成講師
＊ 公益財団法人文楽協会評議員

藤田　隆則

◆著作活動

＊ 2016.06　研究ノート「能の教授における「自得

空間」」『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』10 号 pp.138-144

＊ 2016.09　書評「高桑いづみ著『能・狂言　謡の変遷―世阿弥から現代まで』」『能・狂言』14 号（2016 年 3 月号）pp. 136-139

＊ 2016.10　高橋葉子、丹羽幸江との共同編集『謡を楽しむ文化―京都の謡の風景』日本伝統音楽研究センター研究報告 11、295 頁、京都市：京都市立芸術大学。このうち「序」6 頁分（頁番号なし）を単独で執筆、「『そなへはた』を現代語訳する試み」（pp.127-154）を高橋葉子、丹羽幸江と共同執筆。

◆口述活動

＊ 2016.04.02　Paper presentation. “Narrative persona dissolved in unison singing: Warrior’s narration of *Noh* drama.” A symposium organized by Elizabeth Oyler, held on 2nd April 2016, at the University of Illinois.

＊ 2016.04.04/06 Workshop. “Chanting and music of *Noh* drama.” Held on 4th and 5th of April 2016, at the University of Illinois.

＊ 2016.5 月―7 月（毎週水曜日、全 10 回）講義「でんおん連続講座 B　能の囃子・音曲の骨組みを理解する」27 年度前期　京都市：京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

＊ 2016.06.27　発表「儀礼をめぐる時間の感覚と参加のあり方―様々な宗教を横断して考える」宗教的感動を共有できる法要・葬送儀礼研究会、京都：浄土真宗本願寺派総合研究所

＊ 2016.08.17　Lecture and workshop. “Music of Noh drama.” In Pendulum, intensive three days course in Japanese music, organized by Alison Tokita from 16th to 18th of August, 2016. Kyoto: Kyoto City University of Arts.

＊ 2016.09.11　ワークショップ「うつしから学ぶ―能楽の謡、笛、太鼓―五人囃子の声と音」
拡張された場におけるアートマネージメント人材育成事業「状況のアーキテクチャー」　京都市：京都市立芸術大学

＊ 2016.11.26　講演「民俗芸能のおける歌舞の儀礼性―古典芸能の民俗芸能をつなぐもの　神戸市：神戸女子大学

＊ 2016.12.25　司会担当「文化庁伝統音楽普及促進事業―能は面白い」（代表：河村晴久）、京都市：河村能舞台

＊ 2017.01.28　講演「声明のおもしろさ―修正大導師作法勤修にさきだって」第 13 回西六条魚山会「声明の夕べ」　京都市中京区：浄土真宗本願寺派正光寺

＊ 2017.02.26　講演「声明の記譜法について」芸術資源研究センター主催公演「五線譜に書けない音の世界」　京都：@KCUA

＊ 2017.03.13　Lecture. “*Kakegoe*, the drum calls of Noh play, a Japanese medieval theater.” In the class organized by Jaroslaw Kapuscinski. Stanford: Stanford University.

＊ 2017.03.03　司会担当「文化庁伝統音楽普及促進事業―能は面白い」（代表：河村晴久）、東京：セルリアン能楽堂

◆プロデュース活動

なし

◆調査・取材活動

＊継続中　謡曲・能の囃子の伝承にかかわる調査

◆学内活動

＊ 国際交流委員会委員（前期のみ）

＊ 学術交流推進委員会委員（前期のみ）

＊ 京都市立芸術大学教育研究審議会委員（前期のみ）

＊ 京都市立芸術大学芸術資源研究センター運営委員（前期のみ）

＊ 京都市立芸術大学大学院音楽研究科兼担（日本音楽研究専攻の授業担当、前期のみ）

＊ 京都市立芸術大学学内非常勤（担当科目：民族音楽学（前期）／音楽学（前期））

◆対外活動

＊ 東洋音楽学会理事（編集事務局（8 月まで）、支部事務局（9 月より））

＊ 神戸女学院大学音楽学部非常勤講師（2016.09-2017.03）

＊ 滋賀大学非常勤講師（2016.04-2017.03）

＊ 文化庁芸術祭執行委員会審査委員（演劇部門）
＊ 所属学会　日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music, Society for Ethnomusicology

田鍬　智志

◆論考

＊ 2017.03.31「丹生の太古踊りの歌旋律―類似旋律の分布と替え歌の伝統―」、奈良県教育委員会事務局文化財保存課編『丹生の太鼓踊り―奈良県無形民俗文化財・下市町無形文化財調査報告書―』第六章 pp66-75、下市町文化遺産活用実行委員会発行。

◆映像監修（共同）

＊ 2016.12 DVD『吐山の太鼓踊り』『丹生の太鼓踊り』、奈良の文化遺産を活かした総合地域活性化事業実行委員会制作・著作。発行年月表記：2016.3。

◆講演活動（実演つき）

＊ 2016.04.16「能『玄象』のモデル藤原師長の音楽人生―琵琶・箏の腕前で名を馳せた太政大臣―」、たからづか能関連講座、宝塚ソリオホール、演奏曲：会殿楽（仁智要録＋会殿楽声歌譜）・啄木・団乱旋入破（三五要録）。
＊ 2015.10.02「平成 28 年度宇治市源氏物語ミュージアム企画展 源氏物語の音楽ギャラリートーク」、同館企画展示室、演奏曲：水調 海青楽（仁智要録）・想夫恋（経信琵琶譜）。
＊ 2016.12.01 伝音セミナー第 7 回「舞楽いろいろ―映像でめぐる地方の伝承―その 2」、当センター合同研究室 1。
＊ 2017.02.10「平安末期の京都に鳴りひびく雅楽―古楽譜の解読と『平家物語』に描かれた演奏場面―」、京都アスニー ゴールデン・エイジ・アカデミー 2 月期『輝ける京の文化』第 2 回、演奏曲：想夫恋（仁智要録＋極楽声歌）。
＊ 2017.03.10-11 でんおん連続講座 H「音楽実践をもって徳を積む―平安末期・鎌倉期の管絃講（往生講式）、そのこころ―」、10 日レクチャー於当センター合同研究室 1、11 日専修寺京都別院往生講式（管絃講）、演奏曲：順次往生講式式文（声塵要抄等による）・大経上伽陀・廻向伽陀（以上真宗高田派現行声明による）・萬歳楽・三台急・五聖楽破・同急・往生急（以上 S. ネルソン氏訳譜による）・只拍子 想仏恋・只拍子 陪臚・八句念仏・楽拍子 甘州・楽拍子 郎君子・伊勢海・更衣、演奏：鷹阪龍哉・中川佳代子・上野正章・今由佳里・中尾薫・管亭安・吉岡倫裕・陳宗彤・伊藤慶佑・田鍬・グルビンスカヤ , ナタリヤほか。

◆展示

＊ 2016.07.23 ～ 11.23「仏国憧憬―秀衡と義経、守るべき平泉の光―」、平泉文化遺産センター世界遺産登録 5 周年記念特別展、唐楽壱越調 酣酔楽急の古譜演奏音源再生展示、演奏：伊藤慶佑・陳宗彤・田鍬。2017.02.04 ～再展示「餺飥（はくたく）の宴―藤原道長 春日詣の献饗・天下泰平の祈りが込められた古代の餺飥は日本の郷土食のルーツ―」、風俗博物館平成 29 年 2 月～ 5 月期展示。
＊ 2016.09.14 ～ 11.27「源氏物語の音楽」、平成 28 年度宇治市源氏物語ミュージアム企画展、青海波（詠 , 唱歌 , 垣代音取つき）・胡蝶楽（破 , 急）・想夫恋・陵王（荒序 , 入破）・高麗壱越調 酣酔楽（破 , 急）の古楽譜演奏の音源再生展示、演奏：伊藤慶佑・陳宗彤・吉岡倫裕・田鍬。

◆出演

＊ 2016.04.21（放送）“Traditional Musical Instruments: Eternal Tones Waft through the Ancient Capital”, Core Kyoto, NHK World TV、演奏曲：伊勢海（仁智要録）。

◆調査

因幡の麒麟獅子舞調査（鳥取県・兵庫県内）

＊ 2016.04.09 城山神社祭礼鹿野祭り（鹿野町）
＊ 2016.04.10 母木神社例祭（気高町）・伊蘇乃佐只神社例祭（八頭町）・栖岸寺千日法要双盤念仏（鳥取市）
＊ 2016.04.23-24 三山口神社例祭（鳥取市）
＊ 2016.05.02-05 安長神社例祭・松上神社例祭・日吉神社例祭（以上鳥取市）
＊ 2016.06.18-19 第 1 回調査専門部会会議（県

庁）・民俗芸能フォーラム―語り合おう！それぞれの麒麟獅子舞への思い―取材（鳥取市文化センター）

＊ 2016.09.19 千谷三宝荒神社例祭（新温泉町）

＊ 2016.09.28-29 三柱神社例祭・山宮神社例祭（以上新温泉町）

＊ 2015.12.10 アコヤ楽器店聞き取り（鳥取市）・第 2 回調査専門部会会議（県庁）

風流太鼓踊り調査（奈良県・和歌山県内）

＊ 2016.08.13 小原盆踊り（十津川村）

＊ 2016.08.15 若宮八幡神社嵯峨谷神踊り（高野口町）・野迫川盆踊り（野迫川村）

＊ 2016.08.16 古沢厳島神社傘鉾・椎出厳島神社鬼の舞（九度山町）

その他

＊ 2016.05.14 當麻寺練供養会式（奈良県葛城市）

＊ 2016.07.16 山名神社山王祭舞楽（静岡県森町）

＊ 2016.11.03 毛通寺秋の藤原まつり延年舞（岩手県平泉町）

◆学内活動

＊ 担当科目：日本音楽史Ⅰ（音楽学部）、日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習（大学院音楽研究科）。

＊ 附属図書館芸術資料館運営委員会、自己点検評価委員会、ギャラリー @kcua 運営委員会、学生委員会。

＊ 大学院修士入試委員会、教務委員会。

◆対外活動

＊ 奈良県民俗調査・記録作成委員会委員。

＊ 鳥取県文化財保護審議会無形文化財・民俗文化財部会「因幡の麒麟獅子舞」調査専門部会専門委員。

竹内　有一

◆著作活動

＊ 2017.03.31　編著『常磐津節演奏者名鑑　第 6 巻―近代 4：明治期から昭和期まで（中）―』（常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書 2016 年度、文化庁補助事業）、常磐津節保存会、118pp

＊ 2016.11.27　研究ノート「関西の常磐津と協会創立」、『関西常磐津協会設立七十五周年記念演奏会』パンフレット、関西常磐津協会、pp.18-19

＊ 2017.02.22　研究ノート「浮世絵師が捉えた歌舞伎の演奏家」、伝統歌舞伎保存会編『平成 28 年版 歌舞伎に携わる演奏家名鑑』、伝統歌舞伎保存会、pp.27-33

＊ 2017.02.12　編集『長唄の形と道―立誠校で今藤政太郎客員教授にきく―』パンフレット、日本伝統音楽研究センター第 46 回公開講座、16pp

＊ 2016.05.14　解説「長唄：吉原雀」「尺八：竹籟五章」「地歌舞：八島」「長唄舞踊：藤娘」「箏曲：水の変態」「地歌舞：吾妻獅子」、「出演者素描」（8 名）、国立文楽劇場第 32 回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.3-8

＊ 2016.10.08　解説「常磐津節：宗清」「清元節：三千歳」「宮薗節：夕霧由縁の月見」「新内節：明烏夢泡雪―浦里雪責の段―」「義太夫節：ひらかな盛衰記―神崎揚屋の段―」「常磐津節：新山姥」「清元節：青海波」「義太夫節：心中天網島―大和屋の段―」「一中節：松襲」（以上、曲目と出演者紹介）、国立劇場 179 回邦楽公演『国立劇場開場 50 周年記念　邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.7-21

＊ 2016.10.15　解説「長唄：島の千歳」「清元：傀儡師」「常磐津：そばやの三ツ面」「一中節：都見物左衛門」「常磐津：山姥」「地歌：閨の扇」「長唄：吉原雀」「義太夫：関寺小町」「地歌：葵上」、国立文楽劇場第 34 回舞踊公演『東西名流舞踊鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.6-16

＊ 2016.09.26　レポート「田邉尚雄賞受賞記念講演：時田アリソン」（第 273 回定例研究会）、『東洋音楽学会西日本支部だより』84、pp.4-5

＊ 2017.01.31　レポート「第 76 回大会レポート：シンポジウム「東洋音楽学会と柴田南雄―学会創立 80 周年と柴田南雄生誕 100 周年にあたり―」」、『東洋音楽学会会報』99、p.2

＊ 2017.01　レポート「保存修復専攻とともに音楽研究の原点をつくる」（京芸で、日本の伝統音楽に触れる vol.06）、京都市立芸術大学広報誌『京芸通信』vol.20、p.11

＊ 2016.09.01　インタビュー編集「設立七十五周年記念演奏会に向けて」、『関西常磐津協会機関誌 つどい』45、pp.1-3
＊ 2017.01.31　キャプション執筆・写真編集「設立七十五周年記念演奏会フォトギャラリー」、『関西常磐津協会機関誌 つどい』46、pp.1-3
＊ 2016.10.01　監修「雅楽ってなぁに？」、『月刊京都』783 号（2016 年 10 月号）、pp.50-51
＊ 2017.02.22　項目執筆「常磐津若音太夫」、伝統歌舞伎保存会編『平成 28 年版 歌舞伎に携わる演奏家名鑑』、伝統歌舞伎保存会、p.224
＊ 2017.02.03　展観制作・パネル解説執筆（共著）「特別展観：常磐津正本の修復と書誌的研究―保存修復専攻とともに音楽研究の原点をつくる―」、日本伝統音楽研究センター（展示ギャラリー）

◆口述活動

＊ 2016.08.02　構成・進行・お話「古典芸能キッズワークショップ」、滋賀県文化振興事業団『夏休み 1day 体験：浄瑠璃』、滋賀県立文化産業交流会館
＊ 2016.09.17　構成・進行・お話「未来への継承：常磐津そして三味線―祇園で常磐津節を体験しよう―」、京都和文華の会主催、常磐津都会稽古場
＊ 2017.02.12　構成・進行・司会「長唄の形と道―立誠校で今藤政太郎客員教授にきく―」、日本伝統音楽研究センター第 46 回公開講座、元・立誠小学校（京都市）
＊ 2016.07.30　コメンテイター「田邉尚雄賞受賞記念講演：時田アリソン」、東洋音楽学会第 273 回定例研究会、同志社女子大学今出川キャンパス
＊ 2016.08.04　構成補佐・お話「昭和の関西歌舞伎の音楽を聴く」、平成 28 年度第 4 回伝音セミナー、日本伝統音楽研究センター
＊ 2016.10.03　お話「常磐津節と長唄　その相違点」（杵屋浩基と）、長唄喜楽会企画・主催『長唄喜楽会番外編：長唄 VS 常磐津節―長唄と常磐津節の掛合による作品二題―』、京都芸術センター大広間
＊ 2017.02.03　ギャラリートーク・司会「特別展観：常磐津正本の修復と書誌的研究―保存修復専攻とともに音楽研究の原点をつくる―」、日本伝統音楽研究センター（展示ギャラリー）
＊ 日本伝統音楽研究センター共同研究「豊後系浄瑠璃の史料と伝承―常磐津節を中心に―」研究代表者（詳細別掲）
＊ 毎月開催　勉強会「正本を読む会」座長

◆教育・講義

＊ 2016.05 ～ 09　でんおん連続講座 C「常磐津節実践入門 その 3」（全 10 回）、日本伝統音楽研究センター
＊ 2016.11 ～ 2017.03　でんおん連続講座 F「常磐津節実践入門 その 4」（全 8 回）、日本伝統音楽研究センター
＊ 前期　音楽学特殊研究 h、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
＊ 後期　音楽学特殊研究 i、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
＊ 前期・後期　日本伝統音楽演習 c、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
＊ 前期　音楽学特講 h、京都市立芸術大学音楽学部
＊ 後期　音楽学、京都市立芸術大学美術学部
＊ 後期　京都文化学基礎演習Ⅳ、京都府立大学文学部
＊クラブ指導「常磐津部」、京都市立芸術大学・同大学院

◆調査・取材

＊ 平成 28 年度京都市立芸術大学特別研究「常磐津節における新出稀覯正本の修復保存と翻刻」研究代表者
＊ 文化庁補助事業「常磐津節演奏者の経歴に関する調査」（常磐津節保存会）
＊ 常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査（国立劇場・国立文楽劇場・京都南座・大阪松竹座・歌舞伎座・関西常磐津協会ほか）
＊ 常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の調査
＊ 詞章本出版物（近世版本）等の書誌調査およびデータ作成

◆演奏活動（常磐津節浄瑠璃方、芸名：常磐津若音太夫）

＊ 2016.05.29　常磐津節「三世相錦繍文章」より「福島屋店先」「洲崎堤道行」「三社祭礼：大詰」、常磐津協会 70 周年記念演奏会、国立小劇場

＊ 2016.07　常磐津節（歌舞伎）「由縁の月」「芋掘長者」、七月大歌舞伎、大阪松竹座
＊ 2016.07.31　常磐津節「将門」（三味線）、関西常磐津協会主催『第 1 回常磐津研修発表会』、大阪市中央会館和室
＊ 2016.08.02　常磐津節（ワークショップ）「雷船頭」ほか、滋賀県文化振興事業団「夏休み 1day 体験：浄瑠璃」、滋賀県立文化産業交流会館
＊ 2016.09.17　常磐津節（演奏とワークショップ）「釣女」ほか、京都和文華の会主催「未来への継承：常磐津そして三味線―祇園で常磐津節を体験しよう―」、常磐津都会稽古場
＊ 2016.10.03　常磐津節（長唄と掛合）「瓢箪鯰」「晒女」、長唄喜楽会企画・主催『長唄喜楽会番外編：長唄 VS 常磐津節―長唄と常磐津節の掛合による作品二題―』、京都芸術センター大広間
＊ 2016.10.08　常磐津節「三世相錦繍文章：極楽浄土の段」、『邦楽百番』、NHK-FM
＊ 2016.11.27　常磐津節「初恋路千種濡事：土手場」「三世相錦繍文章」より「三社祭礼：夢覚め、大詰」、（舞踊）「永寿松竹梅」「子宝三番叟」、関西常磐津協会主催『関西常磐津協会設立七十五周年記念演奏会』、国立文楽劇場
＊ 2016.12　常磐津節（歌舞伎）「吉田屋」、吉例顔見世興行、京都先斗町歌舞練場
＊ 2016.12.07　常磐津節「新山姥」、『邦楽のひととき』、NHK-FM
＊ 2017.02　常磐津節（歌舞伎）「三人形」、二月花形歌舞伎、大阪松竹座
＊ 2017.02.02　常磐津節「三保の松」「三世相錦繍文章：十万億土の段」、常磐津節保存会主催『第 2 回伝承事業成果発表会』（文化庁補助事業）、京都芸術センター
＊ 2017.03.29　常磐津節「うつぼ猿」（弾き語り）、関西常磐津協会主催『第 2 回常磐津研修発表会』、大阪市中央会館和室

◆委員・役職等

＊ 文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業（伝統芸能、伝統工芸、文化財保存技術）審査委員
＊ 文化庁 伝統音楽普及促進支援事業審査委員
＊ 京都市芸術文化特別奨励制度審査委員会専門委員会委員
＊ 京都市五感で感じる和の文化事業検討委員会委員
＊（一社）東洋音楽学会理事
＊ フェニックス・エヴォリューション・シリーズ選考アドバイザー
＊ 京都和文華の会理事

〈学内〉

＊ 施設整備に関する会議 副座長
＊ 広報委員会委員、情報管理委員会委員

◆所属学会等

＊（一社）東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、歌舞伎学会、国際浮世絵学会、洋学史研究会
＊（一社）関西常磐津協会、常磐津協会

武内恵美子

◆著作活動

＊ 武内恵美子「弘前藩主の楽」『日本伝統音楽研究』第 13 号（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター）pp.1-15（206-222）
＊ 笠谷和比古編『徳川家康　その政治と文化・芸能』（宮帯出版社、2016）「徳川家康と雅楽―元和元年二条城舞楽上覧の意味するもの」pp.286-305
＊ 武内恵美子「浦上玉堂と琴・催馬楽」『浦上玉堂と催馬楽～江戸時代の催馬楽と『玉堂琴譜』の催馬楽・復元比較～』第 47 回公開講座配布資料、（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、2016）pp.15-25。
＊ 武内恵美子「日本の琴」武井欲生監修『古琴　生風流入門編』（日本古今振興会、2016）pp.6 － 7。

◆講座・講演・口述活動（実演つきを含む）

＊ 2016.06.10 Theory and Practice of Music for the Samurai Class During the Edo Period: the case of Hirosaki Domain. “Music as Intellectual History: A Study of Sound, Music, and Society from Early Modern to Modern Japan” ASPAC 2016, California State University, Northridge
＊ 2016.06.25　The Sekiten Music: a

comparison between Kyoto Gakuso and Hirosaki Domain Gagaku band. “Tohoku, Kyoto, and the Dialectics of “Japanese Culture” AAS in Asia Kyoto 2016, Doshisha University Kyoto, Japan

＊「玉堂琴譜の再現」2016 年度第 5 回伝音セミナー、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

＊ 2016.10.30　第 45 回公開講座「雅楽の道と形唐代雅楽と日本の「雅楽」」企画・構成・司会・座談会聞き手

＊ 2016.11.13 「礼楽思想の諸相」日本音楽学会第 67 回全国大会、シンポジウム、コーディネーター、中京大学名古屋キャンパス

＊ 2017.01.20 「儒教・道教と琴」ICU 宗教音楽センター

＊ 2017.03.05　第 47 回公開講座「浦上玉堂と催馬楽〜江戸時代の催馬楽と『玉堂琴譜』の催馬楽・復元比較〜」企画・構成・司会・講演・演奏

＊ 2017.03.24　山東大学芸術学院にて講演 「日本の儒学と楽思想の展開」

◆教育・講義

＊ 日本伝統音楽演習 b（前期 15 回、後期 15 回）、京都市立芸術大学大学院音楽研究科

＊ 原典購読（前期 15 回）、京都市立芸術大学大学院音楽研究科

＊ 日本音楽史　京都市立芸術大学音楽学部
：2016.04.01-09.30　京都文化学基礎演習Ⅳ、京都府立大学文学部

＊ 2016.06.17-19　伝統文化実践Ⅱ -2（伝統邦楽 2）a　京都造形芸術大学

＊ 2016.12.19　関西学院大学　総合 G「上方歌舞伎の歴史と音楽」関西学院大学上野原キャンパス

＊ 2016.01.28　連続講座 G「京都の琴 2」第 1 回 京都市：京都市立芸術大学新研究棟 7 階合同 1

＊ 2016. 02.04.　連続講座 G「京都の琴 2」第 2 回　京都市：京都市立芸術大学新研究棟 7 階合同 1

＊ 2016. 02.11　講義　連続講座 G「京都の琴 3」第 3 回　京都市：京都市立芸術大学新研究棟 7 階合同 1

◆調査・研究活動

基盤 C「江戸時代の藩校における音楽教習・楽実践から楽思想構築に至る楽文化の総合的研究」（課題番号：16K03022）（代表）

基盤 B「近代移行期における「音」と「音楽」―グローバル化する地域文化の連続と変容―」（課題番号：15H03232）（分担）

＊ 2016.04.15-04.18　上海音楽学院、古楽譜国際シンポジウム出席

＊ 2016.06.30-07.01　上海音楽学院、趙維平氏と公開講座に関する打ち合わせ

＊ 2016.07.22-25.　東京、国会図書館、国文学研究資料館調査

＊ 2016.08.25-29　台湾中央研究院　ICTM 出席

＊ 2016.09.03-05　青森中央学院大学、ひらめきときめきサイエンス「音楽で学ぶ青森の近代―幕末明治の音楽を体験しよう―」講演、演奏および弘前図書館調査

＊ 2016.09.24-25.　岡山県立美術館、「文人として生きる　浦上玉堂と春琴・秋琴 父子の芸術」記念シンポジウム　参加

＊ 2016.11.05-06　お茶の水女子大学　東洋音楽学会全国大会　出席

＊ 2016.11.12-13　中京大学　日本音楽学会全国大会　出席

＊ 2016.02.16-18.　東京　学芸大学、公開講座打ち合わせ、国会図書館調査

＊ 2017.03.22-26　山東省済南、山東大学芸術学院と交流、講演、曲阜調査。

◆委員・役職等

＊ ハラスメント防止対策委員会委員

＊ 機関リポジトリ運営委員会委員

＊ 施設整備作業部会委員

＊ 将来構想委員会委員

＊ 情報管理委員会委員長

＊ 紀要編集委員会副委員長

◆対外活動

＊ 東洋音楽学会機関誌編集委員会委員（2016 年 9 月まで）、関西支部委員（2016 年 10 月より）

＊ 京都造形芸術大学非常勤講師

＊ 京都府立大学非常勤講師

＊ 関西学院大学非常勤講師

＊ 文化庁芸術祭執行委員会審査委員（音楽部門）

◆所属学会等

日本音楽学会、東洋音楽学会、情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会、弘前大学史学会、名古屋芸能文化会、楽劇学会